

平成 25 年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」(母体:厚田区自治体育協会) (平成 18 年 10 月 26 日設立 会員数 25 名)

【目的】スポーツ・食をテーマとして事業展開し、区民の健康増進と地域間・世代間の交流・親睦を図り、自主的、主体的な活動への取り組みを図る。

【活動内容】

●厚田区スポーツと食の体験 (6/23)

会場：望来みなくる 野外広場 入場者数：約 200 名

(玉入れ競技) 16 チーム 96 名参加

・小学生の部 6 チーム 一般の部 8 チーム 高齢者の部 2 チーム

(玉入れチャレンジ) 23 名参加

・高さを選択でき、タイムトライアルで玉数を競う

(紙飛行機グランプリ) 小学生から一般まで 100 名参加

・紙飛行機を作成し、飛行距離を競う

(食のひろば)

・食のチャレンジ (みなくるホールにて、そばアートをつくり、使用後そばかりんとうにして試食)

・味わいタイム (厚田産そば、きのこ村しいたけ、JA 加工品など)



●厚田サンセットヒルフェスティバル (7/27 /28)

会場：観光案内所北側スペース

・望来豚使用豚串とソーセージ、ホタテ焼き、冷やしたぬきそば 販売

・観光案内所の販売、あつたこだわり隊の物産マーケット (地元野菜、JA 加工品)



●夕日の丘ビアガーデン (8/9)

会場：観光案内所北側スペース

・望来豚ソーセージ、おでん、ホタテ焼き、豚串、販売

・はまなす園 (焼きそば)、JA (ビール、しそサイダー) 出店協力

・ニトリ「かもめ荘」にて地元食材 PR と花火

●厚田区カローリング大会 (10/16)

会場：厚田中学校体育館

・参加チーム、選手人数：12 チーム 39 名

※浜益大会派遣：3 チーム 9 名 (11/14)

※全道交流会派遣：5 チーム 15 名 (11/24)



●厚田区ミニバレー大会 (11/17)

・入場者数：約 100 名 参加チーム、選手人数：18 チーム 68 名

・小学生の部、一般男子の部、一般女子の部 (中学生込) に分け実施

●厚田区ウィンターレクフェスタ (2/11)

入場者数：約 200 名

・スキー回転 (小学生 20 名、中学生 2 名、一般 14 名)

・チューブレース (中学生以上 19 チーム 38 名参加)

・人間カーリング選手権 (小学生 22 名参加)

・ステージイベント (じゃんけん大会、ビンゴ大会)

・雪の滑り台 2 基設置 (ジャンボ、ちびっ子)

・雪像コンテスト 4 基エントリー

・屋台コーナー (豚汁、豚串、ライス、ホットドリンク各種)



●石狩 JC 「寒中石狩屋台村イベント」出店協力 (2/8)

会場：石狩市役所前広場 豚串、しるこ、ホットドリンク販売

●会議数 8 回 (総会、実行委員会等)

あつたの森支援の会「やまどり」 (平成20年3月2日設立 会員数 50名)

【目的】 森林施業などの各種体験を通して区内の環境保全、森林の歴史などを子孫へ伝えながら森林を守り・山づくりに寄与し、山のすばらしさを多くの人たちと共有する。

【活動内容】

- 流れ橋架け(6月)
- 下草刈り
 - ・生活環境保全保安林(6月~7月 5日程)
 - ・すこやかロード(6月~8月 7日程)
 - ・あつたふるさとの森(6月~7月 5日程)
 - ・協働事業管理車・歩道(6月~7月 5日程)
 - ・市こども育成会連絡協議会植樹林(6月~7月 5日程)
- 安全教室(6月)
- 環境出前教室(厚田小5・6年生対象に授業 9月)
- 地ごしらえ(あつたふるさとの森 10月)
- 植栽(石狩市、厚田小、漁協合同 10月)
- 除間伐(生活環境保全保安林 11月)
- 会議数 4回(総会、役員会等)



NPO法人 あつたライフサポートの会 (平成20年3月29日設立)

【目的】 区内において地域の人達でお互いに地域を支え合い、安心して住み続けることができるシステムの構築を図るとともに、日常生活を支援し、住民の健康増進、福祉の向上に寄与する。

【活動内容】

- 会員数
 - 〈利用者会員数〉 44名(内 移送29名登録) ※25年度新規加入者 8名
 - 〈サポーター会員〉 20名
 - 〈賛助会員〉 15名
- 委員会(会議) 12回(安全運転講習会 内2回)
- 事業項目と詳細
 - 〈移送事業〉
 - ・利用者数 587名
 - ・サポーター出勤数 延べ238名
 - (バス26回・高齢者クラブ144回・いきいき川2回)
 - 〈除雪事業〉
 - ・依頼件数 20件
 - ・延べ作業時間 106H
 - ・延べサポーター出勤数 24人
- 事業収入
 - 〈移送事業〉111,550円 〈除雪事業〉88,050円



厚田資料室サポートの会 (平成21年2月25日設立 会員数 18名)

※「あつた資料室リニューアル構想策定協議会」から平成22年12月「厚田資料室サポートの会」と名称変更

【目的】子母澤寛、戸田城聖、吉葉山潤之輔、佐藤松太郎の四名を中心に広く紹介し、歴史・文化に触れ親しんでもらうと共に厚田を全道・全国にPRし、新たな地域づくり、歴史文化の伝承を図る。

【活動内容】

- 年間入館者数 162日間 3,224名 (H24実績 2,978名)
- 年間入館料 579,120円 (H24実績 549,600円)
- 入館者増に向けての取り組み

〈特別展〉

1. 「厚田日記 直筆原稿」

期間：5/1～5/31 (27日間)

2. 「戸田城聖第2代会長 家庭教育学総論」パネル展

期間：5/3～10/31 (156日間)

3. 北の海厚田アクアレール第1回水彩画展入賞作品 (4点) 展示

期間：6/3～10/31 (142日間)

4. 「佐藤松太郎特別展」

期間：7/3～10/31 (104日間)

〈プレゼント企画 (書籍 弁財船と厚田村)〉

第1弾：5/1～5/26 (24日間)

応募数 471名 当選者 20名

第2弾：7/29～8/19 (20日間)

応募数 332名 当選者 20名

〈北海道ラウンドきっぷ販売〉 5/1～10/31

956枚販売 (戸田 703枚、吉葉山 89枚、子母澤 83枚、佐藤 81枚)

〈戸田記念墓地公園ポスター掲示〉

桜時期：5/1～5/27 お盆時期：7/31～8/21

〈新聞掲載〉

5月、10月に道新、聖教新聞掲載

- 会議数 7回



地域教育分科会 (平成22年2月17日発足 会員数 10名)

【目的】地域の子どもの教育向上に向け、「地域」「保護者」「学校」が一体となった地域教育を目指す。

【活動内容】

今年度分科会としての動きはなく、結果休止状態となったが、今後は教育委員会が改定作業中である市教育プラン後期基本計画 (H27～H31) 策定への参画など、教育関係機関との連携を図りながら、将来を見据えた厚田区の教育のあり方、方向性を考えていく。

厚田アクアレーン実行委員会（平成22年12月10日発足 会員数 9名）

【目的】厚田のすばらしさを水彩画展を通してPRし、優れた芸術・文化に触れることで、豊かな人間性を育み、新たな地域づくりを目指す。

●第2回作品公募に向けた取り組み

【サークル、教室へのPR】

市内：5件（5/13～2/19） 市外（札幌市内）：4件（6/18～1/23）

【ポスター、リーフレットでのPR】

期間：6月～11月

ポスター掲示件数 286件

リーフレット配布件数 198件

【インターネットでのPR】

石狩市HP、民間HP（3件）

●会議数 6回



あつたこだわり隊（平成24年3月23日発足 会員数 34名）

【目的】厚田区内の生産者、消費者、販売者等が結集し、厚田の「土地」「味覚」「らしさ」にこだわって、厚田の良さをPRし、また漁業・商業、観光等連携を図り、共に持ち味を出し合い、新たな地域活性化に取り組む。

【活動内容】

●生産関係

- ・生産者（団体）数 13名 ※うち隊員5名
- ・出荷品目 30品目
- ・生産者募集の取り組み（JA協力）



●販売関係

試験直売

〈期間〉山菜：6/15.16（6/13.14山菜採取） 農産物等：7/13～9/29の土日 22日間

〈会場〉旧厚田石油GS（移動販売：キャンプ場、海浜プール）

〈販売品目〉

- ・山菜（フキ、竹の子、ウド）
- ・農産物（米、メロン、とうきび等）
- ・JA加工品（しそジュース、ジャム、みそ等）

〈スタッフ〉

- ・実人数 23名（隊員14名 ボランティアスタッフ9名）
- ・延人数 112名

〈事業収入等〉

売上額 1,483,460円 仕入額 1,141,904円 利益 341,556円



〈アンケート〉

住所、目的、知ったきっかけ、品揃えなどの聞き取り実施。

- ・実施人数 57名（男23 女34）

各種イベント出店

- ・戸田記念墓地公園「桜まつり」(5/18.19)
- ・厚田サンセットヒルフェスティバル(7/27.28)
- ・さっぽろオータムフェスト(9/13~17 5日間)
- ・厚田ふるさとあきあじ祭り(9/23)



農作物勉強会の開催

販売員の農作物の知識向上、生育状況把握のため実施。

会場は河合農園、高田農園にて実施。

〈第1弾〉5/15 参加者 8名

〈第2弾〉7/12 参加者 10名



●PR関係

情報発信基地「あった！」

緊急雇用創出推進事業により2名雇用し、情報収集、発信。

〈来客者数〉288名 6/17オープン

〈Facebook〉投稿数366件 閲覧数32,917件

〈Blog〉投稿数73件 閲覧数21,502件



ロゴマークの製作

PR班中心に、夕日をモチーフにしたマークを製作。

(隊全体、各班ごとのマーク)

厚田情報誌「あった!厚田のほん」発行

日本語版 3,000部 英語版 1,000部

情報紙発行

隊の旬な話題、直売所情報など回覧板にて周知。(7月、8月の2回)

スタンプラリー

観光客の流れの把握、売上や入場者増の相乗効果を図るため実施。

〈対象店舗等〉7箇所(隊直売店、観光案内所、松浦水産、中井水産、カントリーキッチンア)、厚田資料室、情報発信基地「あった!」)

〈第1弾〉期間:7/13~8/11 応募数:21通 当選者:6人

景品:「メロン2玉」「加工品詰合せ」いずれかを選択

〈第2弾〉期間:8/17~9/27 応募数:4通 当選者:4人

景品:「米5K」「加工品詰合せ」「鮭1本」いずれかを選択

札幌市地下歩行空間でのPR (3/10)

- ・大型スクリーン、パネルによる厚田区の紹介
- ・PR用ポケットティッシュ配り

●研究開発関係

ホタテ稚貝入りコロッケの試作、試食会実施

- ・班での試作、試食 2回実施
- ・ササヒルフェスティバル（7/27）試食会、アクト実施 122名参加

●会議数

大作戦会議 1回 作戦会議 3回

各班会議 29回（企画調整班 6、生産班 7、販売班 6、PR班 8、研究開発班 2）

